

「日経平均・予想配当指数」の算出・公表開始について

日本経済新聞社は、2010年4月から算出を開始した「日経平均・配当指数」（日経配当指数）に加えて、3月7日から新たに「日経平均・予想配当指数」（日経予想配当指数）の算出・公表を開始します。

新指数は、日経配当指数と同様に、日経平均の構成銘柄の株式を、日経平均の計算式に合わせて1年間保有した場合に受け取ることのできる配当金を積み上げて指数にしたもので、各銘柄の1株当たり配当金を株価の代わりに日経平均の計算式に当てはめた値を求め、それを年間累積することで算出します。

日経配当指数では日経平均の構成銘柄の1株当たり実績配当金が株主総会などで確定するつど積み上げて算出するのに対して、日経予想配当指数では構成銘柄の配当金が確定する前に、一旦配当落ち日に予想配当金で積み上げたうえで、配当金が確定した段階で実績と予想の差分を調整します。

1年間を通じた受け取り配当金を算出するため、日経配当指数と同様に、日経予想配当指数も各年ごとの指数値として算出します。それぞれの年の指数値は、日経予想配当指数が先行して上昇し、最終的に日経配当指数が追いつく形となります。反映・調整のタイミングが異なるだけで、同じ構成銘柄からの受け取り配当金を対象にしており、日経配当指数と日経予想配当指数の各年ごとの最終値は一致します。

日経平均を原資産とした各種金融商品を組成するにあたって、配当部分の変動リスクをヘッジ（回避）するために配当スワップ取引が活発に行われています。日経配当指数は、こうした取引のベースとなる指数として開発されましたが、日本の制度上、配当落ちから配当の確定までの間に一定のタイムラグがあるため、取引の清算値となる指数の最終値に対する予見性を高めて欲しいという声を多くお寄せいただいていた。今回の新指数の算出・公表開始は、こうした市場参加者からのニーズを反映したものです。

指数値は証券営業日の午後3時を目途に、日本経済新聞社の指数情報サイト「日経平均プロフィール」(<https://indexes.nikkei.co.jp/>)で公表します。新指数の詳細については[算出要領](#)をご覧ください。

また指数値は、1998年指数まで遡及算出しています。「日経平均プロフィール」の指数ページでは、直近3年分の日次データを参照いただけます。有料データサービス「プレミアム・データ・パッケージ」をご契約の方は、遡及算出した指数値を含めたすべての日次データをご利用いただ

けます。

※「プレミアム・データ・パッケージ」の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

日本経済新聞社 インデックス事業室
indexes.nikkei.co.jp